



み
あ
さ
づ
く
り

「静の桜」^{た お} 殞れる！

長野県の天然記念物「大塩のイヌザクラ」（1962年指定、高さ20m、幹回り約8m）が6月5日（土）午前10時頃に突然、倒木しました。大町市では今年3月に長寿命化に向けた対策を行ったばかりだったので、残念でなりません。

「静の桜」は源義経を慕う静御前が義経を追って奥州（おうしゅう）に向う途中、大塩の地にたどり着

き、地に刺した杖が根付いて大木となった伝説から古来より美麻地区の象徴として親しまれてきました。今後は長野県教育委員会が専門家の意見を聞きながら対応を協議することとなっています。

QRコードを読んでパソコンやスマホでもご覧ください。

ホームページ
美麻Wiki



facebook



82

静の桜を偲んで

長い間、静の桜を見守って来られたご近所の方々にお話を伺いました。



昭和34年5月頃

写真提供：松木澄代さん

昭和38年頃

この頃、麻や養蚕がだめになり田やタバコの栽培が中心となる。タバコの植え付けで近所に手伝いに行った時の写真

写真提供：松木澄代さん



桜の木が倒れたショックで体調を崩しました。生まれてから毎日のように立ち寄っていて、心のよりどころとなっていました。桜の木の下には「ほこら」もありましたが今はありません。桜と一緒に大木の「もみじ」もありましたが、病気となり現在はありません。今、公園には池田町からいただいた「大かえで」の苗木が育っています。

公園が整備される前は、麻畑や豆畑や薬畑に囲まれていて4月8日と10月8日には「薬師講」を近所の12軒で行っていました、それぞれお重を持ち寄り寒いときには火を炊いたりしながら桜の木の下でやった思い出があります。今でも、「お薬師さま」の石仏へお供えを上げてお参りをしています。老化が原因とはいえ何十年も見ていた景色が変わりすごい寂しさを感じています。

(南村 松木澄代さん)

実家も大塩にあり、毎日見ていました。あの場所にあった当たり前の桜の木です。大塩地区では、「桜の木」というと「静の桜」とみんなが思うほど親しまれていました。現在の公園ができてからは地域の交流の場となり、大塩地区で「公園祭り」も行い、女性のお餅の振る舞いや、小学生のポスターコンクールなどにぎやかに行われたのを思い出します。

美麻村100周年（平成元年）を機に美麻地区全域で「静の桜」の名前が広まったように記憶をしています。他の地区で暮らす親戚から新聞等での報道を見て連絡がきます。本当に寂しい出来事です。（中の貝 藤井重子さん）

平成7年

「静の桜」周辺が静の桜公園として整備される。



昭和63年3月

写真提供：松木澄代さん



地域の話題

美し村開拓プロジェクトに参加して

朽ち果てつつある古民家を昔の景観に戻す「地域メンテナンス事業」の第3回ワークショップを開催しました。

美麻にご縁があり住み始めてもうすぐ二年になります。自然豊かで人が優しく、山が美しく空気おいしい、美麻の生活にとっても満足しています。以前、関東圏に暮らしていた時は「鉄腕！DASH」「ボツンと一軒家」「猫のしっぽ、カエルの手」などのテレビ番組が大好きで田舎暮らしにあこがれていました。実際に住んでみると田舎の問題も少しづつ見えてきました。人口は減少傾向にあり、空き家は増えているようです。そうすると景観問題や、治安、安全、鳥獣害問題など後をたちません。このような問題をボランティア住民の手で解決し、この土地を今ここに住む人たちにとって一番快適な形へと再生することは意義ある事だと思います。実際参加をしてみて地元の人たちと交流を

しながら、要らなくなった物を再利用できることがとても楽しかったです。これからもどんどん協力をしていきたいと思っています。(二重：川崎 仁)



「屋こぼし」に参加して

8年生は、昨年度から美麻地区の未来について考えており、移住促進に関わった地区の作業に積極的にお手伝いをさせていだいてきました。



4月16日(金)、「総合的な学習の時間」を使って、美麻地域づくり会議の皆さんが活用に取り組んでいる、古民家の「屋こぼし」の儀式に参加しました。「屋こぼし」とは、家を解体するときに、それまでお世話になった家に

感謝するとともに、ずっと守ってくださったたくさんの神様に感謝し、無事に家の解体工事が進みますようにとお祈りする儀式だそうです。家を壊すという儀式は、おそらく人の一生で一度あるかないかという、とても貴重な体験だったと思います。

千見の傘木宮司から作法を教わりながら緊張してみんな神妙な態度で礼拝をして年月の重みを感じるこの家に感謝の気持ちを伝えました。そのあとは、時間いっぱい片付けの手伝いをしました。まだまだ、家の中にはたくさんのものが置いてあって、これらを少しずつ片付けていくのだと思うと、大変だなという思いが沸き立ちますが、子供達はとても楽しそうに片付け作業を行っていました。「片付いた後に、どんなものを作ろうか。」「この池はとてもきれいで、湧き水も出ている。ここをきれいに整備したいな。」と、夢を語り合っていました。

【日記より】

今日は屋こぼしがありました。二拝二拍手一拝は、収穫祭の感謝の式でやったことがあったので、結構わかりました。でも、8年生でやるとは思っていなかったのも、少し緊張しましたがきちんとできました。

草刈り作業に40人以上が参加

大勢の皆さんから参加いただき6月19日(土)に建設業協会の皆さん、美麻支所と連携して地区内生活用道路の草刈りを行いました。今年から、高齢化等で手が回らない集落の草刈りをお手伝いすることになり、青貝自治会より片岡地区への支援依頼がありました。作業延長が16kmもあったのですが、

予定の時間内に完了することができました。

作業中、毎日ウォーキングをしているお母さんからは、「草の背丈が高いと走ってくる自動車が分からず不安だったが、見通しが良くなって助かる」と言っていたけました。ご協力ありがとうございました。



地域の話題

美麻小中学校・みあさ保育園合同運動会 (6月5日)

100% 完全燃焼 全力疾走 無我夢中 夢に向かって 団結したよ!

前日は結構な大雨でしたが、先生方のグランド整備のおかげで美麻小中学校・みあさ保育園合同運動会が6月5日(土)に無事実施されました。

「完全夢結」というスローガンやなかよし班のニックネームや意気込みを運動会実行委員として7年生が考え、ブラカードを作成して入場し、元気よく選手宣誓もできました。

全校による障害物競走や5～9年生の陣取り合戦、剣道の演武など新しい競技や保育園と一緒に「鬼滅の刃 美麻 II」(玉入れ)、保育園、1～4年のダンスもとても可愛く元気に出来ました。

応援合戦も気合いが入っていました。最後のなかよしリレー(全校リレー)は練習の時より迫力あるレースになり、順位もだいふ入れ替わりました。

今年度も地域の方の参加が中止になり、「美麻音頭」を一緒に踊って終わることが出来なかったのが、サプライズで「パブリカ」を全校で歌って踊って楽しく終わりました。

地域ボランティアの方や多くの保護者の方にも、朝から会場準備を手伝っていただき、本当にありがとうございました。来年は、地域の方も参加できるといいですね!

(文責 7年担任 小山)



白組 応援団長 鈴木菜月

私が運動会で頑張ったことは応援です。最初は、声もあまり大きくなかったし、振り付けもダメダメだったし、教え方も下手で、あまりうまくいきませんでした。でも、やっていくうちに声を大きく出す方法や、振り付け、教え方が少し分かるようになりました。また、アドバイスももらって、自分で気づけなかったこともできるようになりました。運動会の応援のときは、始めは緊張してなかったけど、あとから緊張しました。ハプニングがあったりしたけど、失敗しなくて良かったです。

紅組 応援団長 高橋大地



今まで、運動会の練習をしてきました。そして、ぼくは、応援団の団長になりました。今までずっと練習してきたので本番は、紅組が勝ってほしいという気持ちで頑張りました。本番では、ドキドキしていて、間違えないようにと思って、間違えずにちゃんとできたので良かったです。紅組は、最初白に負けていたけど、仲よし班リレーで赤が逆転勝ちをしました。ということで、とってもいい運動会になりました。応援団の団長になれて良かったです。気合で「100%勝つぞ〜!!」が、よかったんじゃないかと思いました。

美麻小中学校との合同運動会

前日は雨で開催が心配されましたが、天気も回復をしてすばらしい運動会日和となりました。運動場の入場門へ集合をしたときは少し緊張気味でしたが、とてもワクワクした様子が伝わってきました。最初の競技、障害物競走では名前を呼ばれるたびにみんな大きな声で返事ができ、競技も一生懸命頑張っていました。そして、次の競技は娘が一番楽しみにしていた玉入れです。家でも練習をしていたので、入場から飛び跳ねていて遠

い保護者席からもやる気が伝わってくるほどでした。そして、結果は大勝利!!でしたが負けた組も笑顔が輝いていて、勝敗よりも子供たちが一生懸命に取り組んでいる姿勢が素敵で、最後のダンスでも子供たちみんなの成長が目に見えて感じる事ができ感動しました。大きな怪我もなく無事に終わることができ、素晴らしい運動会でした。

(保育園保護者会 重田あまな)



美麻小中学校PTA作業のお礼



新型コロナウイルスの影響が各方面にあるなか、三密にならないよう、注意をはらいつつ、例年通りのPTA作業を5月29日（土）に大勢のボランティアの方に協力をいただき実施することが出来ました。ご協力をいただいた皆様、ありがとうございました。

ボランティアの皆様には、身の丈を超える木を剪定していただいたり、初夏の日差しによりぐんぐんと成長した山野草園の草を刈っていただいたり、校庭横に生えた大木の伐採など、大変な作業をしていただきました。

伐採後は木の年輪に、チェーンソーで木の絵を彫っていただきました。PTA作業終了後子供たちが木の年輪を数えている姿が印象的でした。今回のPTA作業を通じて学校運営と子供たちの成長は、地域の皆様に支えているのだと改めて実感した一日でした。地域の皆様には、日ごろからご支援をいただいております。重ねて感謝申し上げます。私たち学校PTAもがんばりますので今後もどうぞよろしくお願いたします。（美麻小中学校PTA 中村秀明）

学校支援ボランティア研修会を開催

美麻小中学校にて美麻スクールパートナーズのボランティア研修会が5月29日（土）に行われました。ボランティアや先生方の約30名が参加して、総合学習美麻市民科の意義、視点などを、前日に学校での総合学習の特別授業をやっていただいた菊池先生のさまざまな探究の学びの経験のお話、大学入試の変化や求められる能力のお話から、ワークショップを通じて考え、共有しながら学びました。終了後のパートナー会議では、協働活動の評価、反省や課題、今後の学校について話し合いました。



「美麻カルタ」貸し出します。

昨年度の美麻小中学校9年生が作成した美麻カルタを、イベントや交流会などに貸し出しをします。ふるさと美麻の魅力を多くの方に知っていただきたいと、子供たちの目線で5年がかりで制作をしたカルタです。大町市の大町図書館でも貸し出しをしています、ぜひご活用ください。

美麻地域づくり会議事務局
（美麻支所総務係内）
t e l 0261-29-2311
担当：矢口、川上
美麻スクールパートナーズ：
前川
090-4136-4994 sizuka
@miasa.ne.jp



ジビエ（鹿肉）料理の開発進行中

鳥獣害対策で捕獲をした鹿肉の活用を目的に、ジビエ料理の開発を地域づくり会議の皆様の見意をもとに、レストランメニューを提供しようと開発を進めています。7月中旬ごろには地域の皆様に紹介できるよう準備を進めています。

合わせて「ほかほかランド美麻」をより気軽に、よりお得にご利用いただけるよう、日帰り入浴利用時にバスタオル、フェイスタオルの無料貸し出しなどの特典が付く「ほかほかランド倶楽部」を発足しましたのでご活用ください。

（ほかほかランド美麻）



◆美麻の鹿肉を提供しているお店
鹿肉は脂肪が少なく、高タンパク、低カロリー、鉄分豊富はとても健康的な肉です。

■ほかほかランド美麻

Tel0261-29-2030 Fax0261-29-2230

☐info@miasa-pokapokaland.com

〇ローストティア ブロック状の肉を低温でゆっくり火を通した、肉の旨味が感じられる料理です。現在は宿泊者のみに提供

■手打ちうどんしずかの里

Tel、Fax0261-29-2262

☐sizuka@miasa.ne.jp

〇ジビエ山賊うどん 時間をかけて甘辛く煮込んだ鹿肉のスペアリブをトッピングとして地粉手打ちうどんにのせました。

◇営業：水曜日～日曜日 正午から13時30分

■農園カフェラビット

Tel0261-85-2120

☐miasa.rabbit@gmail.com

〇鹿肉キーマカレー 野菜もたっぷりでヘルシー
〇鹿肉カレー 化学調味料を使っていない、スパイシーなカレーです。

〇鹿肉のロースト、ステーキ風

〇鹿肉のラグーアラボロネーゼ（ミートソースパスタ）

◇営業：金曜日～日曜日

小さな拠点勉強会を開催（5/29）



岩手県北上市から小さな拠点の運営を実践されている菊池先生をお迎えして、運営上の苦労や工夫、注意が必要な点などをお話しいただきました。美麻地区でどのような活動を目指したいのか、参加者の皆さんに考えていただく機会となりました。

小さな拠点運営組織の法人化を決定

6月3日に開催した小さな拠点部会において、運営法人を「一般社団法人（非営利型）」とし、地域づくり会議の役員が発起人となり法人を設立することを決定しました。今後は地域の皆さまからの活動への参加方法をお知らせしながら、小さな拠点の運営準備を進めていきます。

源流美麻太鼓

中日本太鼓ジュニアコンクールに出場（6/6）

コロナウイルス感染の影響で令和2年度の県大会が開催できませんでした。残念な気持ちでいたところ、中日本のコンクールへの出場ができる事となりみんなで喜びました。会場の富山県高岡市に5県（石川、富山、岐阜、山梨、長野）から9チームが出場し、上位の4チームが全国大会の切符を手にしました。源流美麻太鼓の会は残念ながら入賞を逃し子供たちはすごく悔しがっていましたが、6人で精いっぱい演奏ができました。初めて見る他県チームの演奏が刺激となり、これからの目標ができた気がするコンクールとなりました。これからも源流美麻太鼓の会の応援をよろしくお願いいたします。

（源流美麻太鼓保護者 早川安希子）



.....
 コミュニティ・スクールの話題

ワクワク 初めての遠足

5月14日（金）に二重沢の親水公園を目的地に遠足に出かけました。この日は天気にも恵まれ、しかも気持ちのよい春風を感じながらの遠足になりました。田んぼの景色の遅か先には、白馬山々の雄姿も見ることができ、美麻の春を体いっぱい感じながらの遠足になりました。

親水公園では、昼食後に川遊びを満喫しました。ちょっとした川の傾斜を使って、滑り台のように滑り降りたり、玉網などを使って川の生き物を捕まえたり、自分の好きな活動に没頭して過ごすことができました。

この日は、スクールパートナーズの方にも多数ご参加いただきました。子ども達と一緒に歩きながら優しく手をひいていただいたり、水中生物について教えていただいたり、子ども達の着替えのお手伝いをしていただき、大変助けていただきました。お陰様で子ども達は、とても楽しい1日を過ごすことができました。（文責 1年担任 松澤 享）



野焼きで思い出づくり！（2年生）



物など、たくさんの作品ができました。

昨年度、南庭を毎日掘って作った、『ぼくたちのおいけ』から出てきた粘土質の土を、思い思いの形にこね、好きなものを作りました。醤油さしにお皿、箸置き、かわいらしい小

4月、「いよいよ作品を焼こう！」と、子どもたちは大張り切り。二重の後藤順子さんに教わりながら、ドラム缶での「野焼き」にチャレンジです。作品をおきになった焚火に入れて待つ間には、竹巻パンを作ったり、野菜やマッシュマロを焼いたりして楽しみました。いよいよ作品を取り出す瞬間には、少し緊張した空気が流れました。自分の作品が、色を変えて取り出されると「わあ！！」と言って目を大きく開けながら喜ぶ子どもたちでした。おいけづくりの思い出が、形に残ってとても嬉しかったです。（文責：2年担任 西澤沙織）



この場所で本当に合戦があったんだ！（3・4年生）

講師の勝野さん（文化財センター所長さん）から、千見城の数々の戦いの歴史をお聞きする子どもたちの表情は真剣そのものでした。

5月14日の千見城跡遠足は、気持ちのいい五月晴れの中、総勢17名のボランティアの方とともに、無事に行うことができました。途中、尾根沿いの急斜面をはしごで登っていくような場所も、子どもの中に大人が一人ずつ入り、十分安全に配慮して行くことができました。頂上では千見城にまつわる昔話をお聞きしました。ボラ

ンティアの中島さんの情感あふれる語り引き込まれ、皆息をのんで聞き入っていました。その様子を間近で見、地域の方から、地域の歴史を語ってもらうことがもつ価値は計り知れないなあと感じました。

その後、戦国時代の武将の気持ちになって曲輪（くるわ）を探検しました。堀切や急斜面、行く手を阻む大岩・・・千見城の攻めにくさを、身をもって知ることができた子どもたちでした。



真剣な眼差しで聞き入る
佑希さんと陽翔さん



大勢のボランティアの皆さんと本丸あとにて



しっかり見守っていただきました

雨が心配される天候でしたが、昨年ではできなかった山菜学習を5月19日（水）に実施しました。

今年こそはという思いでしたが、実施できて本当に良かったです。

1時間ほど学校の周りを散策し、みんなビニール袋にたくさんとって集まることができました。学校に戻ると講師の種山さんが用意してくれた「ごごみ」「とりあし」などをいただき、さわやかな山菜の風味を味わいました。種山さんは、前日の朝から夕方まで美麻中校内を歩いて多くの種類の山菜をとり、この日のために準備をしてくださいました。また、6名の講師の先生方、8名のボランティアの方にお世話になりました。美麻の温かさを感じる学習になりました。山菜学習をすると「学校の周りには食べられるものがたくさんあるんだな」と毎回感じます。そして、さすがは4年生。たくさんのお山の山菜の名前を



山菜たくさんとりました

知っていたり、「イタドリだ」とすぐ見つけたりしていました。採った山菜を1・2年生に渡している姿もありました。（文責：4年担任野本和幸）

機械と手作業のハイブリッド米作り「田植え」！

5年生は、種山さんの田んぼをお借りし、米作りをしています。人数が少ないので機械と手作業で稲を育てます。スクール・トイズの皆さんに教わりながら、田起こし、代掻き、田植えを体験しました。保護者の皆さんには「おこひる」を用意していただき、田植えの後にゆっくりとした時間を過ごすことが出来ました。これからも米作りが楽しみです。

☆体験の感想より

・私は家でやったことがあったけど、学校の田植えは暑かったから気持ちがよかったです。知らない植え方を初めて教わりました。家のやり方とはちがってびっくりしました。（後藤 天愛さん）



・足をどろに入れた時、最初は気持ち悪かったけれど、途中から気持ちよくなりました。苗をふんじゃったり、10本くらい植えちゃったりしておられました。でも、なぜかすべてが楽しかったです。

（田澤 時澄さん）

☆お手伝いいただいた方への感謝

・手伝いをしてくれたみなさんへ手伝いをしてくれてありがとうございます。（*^_^*）キュウリおいしかったです。（^^）/（太田 愛音さん）

・機械でやってくれて、進んだのでよかったです。トラクターに乗せてくれたり、手で植える方法を教えてくれたりしてありがとうございました。（西山 来輝さん）

「つながり」の大切さ（9年生）

花MAME株式会社社員5人で6月4日（金）に白馬五竜スキー場で花豆を育てる手伝いをしました。定植作業では、花豆を土嚢袋をポットの代わりにしていました。そうすることでコンクリート等の上でも育てることが出来ます。土嚢袋は見た目もおしゃれで新しい発見でした。大きくなり元気に育っていくのが楽しみです。作業後は、担当の方と今後の事について話しました。



ゴンドラで登った先にあるお店アルプス360では、今年の夏に私達の栽培した花豆で作ったソフトクリームを販売するそうです。

また、夏の間は使わないギャラリースペースで私達の紹介やパネルの展示もできると言われました。五竜は、県外などからもお客さんが来る場所なのでとても嬉しいです。

これからもつながりを大切にして、白馬五竜と花MAME株式会社でできることを探りたいと思います。

（文責 菊本ナツミ）

広がる地域づくり活動

美麻地域のエネルギーを考える会 —C材活用による「薪ステーション」づくり—

当会は、地域の森林資源のうち建築材やベニヤ材として利用できず、遠方へ搬出される木材（C材）を活用し、美麻地域のみんが参加できる「薪ステーション」づくりを目指しています。今年度は、薪割りやチェーンソーの安全技術講習会、森林資源を活用した地域づくりを進めている場所の視察の実施、秋には、再生可能エネルギーによる地域づくりをテーマとした映画「おだやかな革命」の上映会などを実施する予定です。

ふたえ市民農園で5月30日（日）に開催した薪割り講習会には、総勢20余名の参加があり、薪割り講師による実践的な薪割り指導のほか、薪割り達人である大塩地区の種山裕元さんによる実演も行われ、有意義な講習会となりました。活動にご興味のある方は事務局までご連絡ください。

お問合せ先 事務局：吉本（☎29-2970）

✉miasa-bakery@miasa.ne.jp



(5/30 種山裕元達人の実演)

タイムカプセルを開いてみよう！

美麻小中学校20周年タイムカプセル開封イベント

日時 令和3年7月24日（土）9時から

場所 美麻小中学校グラウンド北側

参加 無料：どなたでも参加いただけます。

カプセルを掘り出して中身を確認するシンプルなイベントです。



◆新型コロナウイルス感染症を予防するため、体調のすぐれない方は参加を控えてください。参加時は

お問合せ先

実行委員代表 北澤和也 090-4442-8055

市民活動を支援する「令和3年度大町市のひとが輝くまちづくり事業」に採択された美麻地区の2団体の事業内容を紹介いたします。

「青貝を元気にする会」 青貝を元気にしよう！プロジェクト

令和3年度ひとが輝くまちづくり事業の補助額の決定をいただきました。審査結果が発表されると、安堵感と同時にプレゼンテーションの内容を実際に実行して行くべき責任を痛感しました。

「青貝に住んでいて良かった。」それには、そこに住んでいる私達が楽しく快適だと感じなければとの思いでこの活動は始まりました。

県道沿いの荒廃地への桜の植樹、花植え、丸切沢の親水公園整備、アダプトプログラムへの参加に伴いオリンピック道路周辺のゴミ拾い、これらの作業の後には皆で手弁当とか焼肉を囲み懇親を深めながら、地域の問題点など話し合う場を作っています。地域全体で高齢化が進み、集落の維持管理作業が大変になってきている現状も有り、共同作業に多くの人達の参加をお願いしながら、少しずつでも青貝が元気ある地域になっていってほしいと思います。

（青貝を元気にする会 代表：北沢建治）



支所と公民館の方に5月25日に圃の畑を耕していただきました。その様子を遊びながら興味津々に見ていた子どもたち。「とうもろこしの苗を植えに行くよ〜！」と言うと大はりきりで準備をして畑へ直行。今年も八坂の塚田さんから苗をいただきました。去年は1本だけサルに食べられてしまったけれど、みんなでポップコーンパーティーができました。「サルに食べられませんか。」や「大きくなってね。」と、かわいい言葉をかけながら1人1本優しく植えていました。最後に苗へ水をあげていると何やら動いているものが……。その正体は『ミミズ』。虫が大好きな子どもたちは、みんなで円になって触ったり、観察したり…。川上さんに「ミミズが畑にいと土が良く野菜がおいしくなるんだよ。」と教えてもらい、最後には「とうもろこし、美味しくしてね。」と、畑にかえすことが出来ました。毎日、成長を楽しみに畑を眺め楽しいポップコーンパーティーができることを期待しています。（園長 北村幸）

連載

大町民話の里づくり人への会
美麻の口碑伝説
～語り継ぐ郷土の心～

七



絵：荒井泰三画伯
(大町の民話美麻・八坂編より)

このお堂には、薬師(やくし)瑠璃光(るりこう)如来像(にょらいそう)と地藏(じそう)菩薩像(ぼさつそう)の二体の本尊様が一緒に祀られている。地藏様は、隣の集落の小境(こさけ)の西の山にあった安平寺(あんべいじ)の本尊様。一方、薬師様は、小奈良尾の坪川(つぼかわ)のお堂の本尊様。それぞれ廃寺となった本尊様を地元の人々はそのまま捨ててはもったいないことだといって、小奈良尾にお堂を建てて祀った。ところが、夜な夜な荒々しい物音が聞こえる。近所の人たちは気味悪がり見に行くと、二体の本尊様は背中合わせになっていた。直して置くと、また荒々しい音がし、背中合わせになりたり転んでいたりしている。

小奈良尾のお堂

不安に思い、ある寺の坊さんに拜んでもらったら、不思議にもそれからは静かになった。今では、目の病と安産にご利益があるとされ、また少しでも悪口を言ったり、ご本尊様を汚すようなことをすると、たちまち仏罰(ぶつばち)が当たると言われる。現在、本尊様は白馬の貞麟寺にあるという。



奈良尾地区には昭和35年には74人が暮らしていましたが、昭和40年代には3戸となり、50年代中頃にすべて美麻地区内外に転出され廃村となっています。

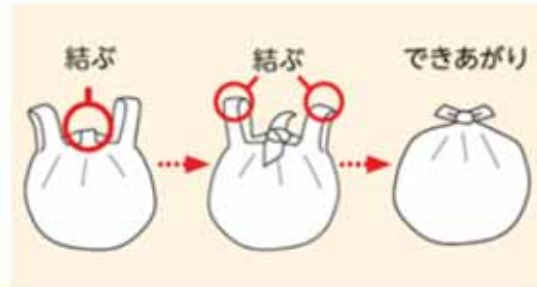
つながれ地域のお店(事業所) ⑧ - 三喜商事(みきしょうじ) -



平成9年度から、美麻地区のゴミ収集業務を行っており、地区内に59か所あるゴミステーションを週2回巡回しています。また平成24年からは、千見地区の道路除雪(総延長50km)も行っています。どちらも休むと地域の皆さんに迷惑をかけてしまうので、体調の管理には常に気を配り、ライフラインの一翼を担っているという自覚と責任を持って仕事をしています。

最近のゴミ事情について、感じることは、コロナ禍でのまとめ買いの影響でしょうか、ゴミの量が多くなり、重量も増えているように感じます。

そこで、スムーズな収集ができるよう地区の皆さんにお願いがあります。ゴミ袋の縛り口は縦横両方を縛っていただくと、収集時に中身が散乱しにくくなりますので、ご協力をお願いします。



ゴミ袋のしぼり方

編集・発行 美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info